

平成26年度町政等に関するアンケートによる意見、提案、課題等

- 1 防災無線の放送ですが、最後の雑音いつになったらなおるのですか。よその町の人からよくいわれます。(仕事です)となり町の人にいっぱいいわれる。

回答：総務課

町の防災行政無線は、昭和56年から順次整備を行い、町民の皆様などに防災情報等の提供を行ってきました。しかしながら、これまでの宅地開発や住宅の気密性の向上、また、機器の経年劣化により設置時に比べ聞きづらくなっている地域が発生しています。このため、難聴地域の解消に向け、平成25年度から平成28年度までの4ヵ年事業で機器の更新等に取り組んでおり、更新工事が完了した子局では、ご指摘の不具合は解消されるものと考えておりますので、ご理解をいただきたいと考えております。

【平成27年度の進捗】

平成27年度は、子局12基の更新工事を実施し、町内39基の子局のうち27基の更新工事が完了しました。

- 2 先般の行政説明会の司会者、進行説明については段取りに一工夫を。せっかくの良い予算がわからない。

回答：総務課

行政説明会は、住民の方に当該年度の当初予算について歳入・歳出予算の概要、目的別及び性質状況及び主要事業等の概要を説明することで、町政に対し理解を深めていただくために開催しています。昨年は新たにプロジェクターを使用するなどし、説明をしましたが、今後も住民の方に分かりやすい説明ができるよう工夫していきます。

- 3 音楽に依る町づくりについて

資本の掛からない町づくりは音楽に依る～～が最も良いのでは…。

エローラ、松高、公園、バスターミナル、この4つは1つの組み合わせ、松伏のエローラの名を高める為の公園を清潔、整備、心地良い処にする。

私達は池を調整池とは思っていません。池と木立は良い絵です。この池にカルガモ、白鳥、白サギなどが集まる処にして、人々が訪れ憩う場所にしては？「ヒウ湖」の様に「ホウホウ」と鳥に声を掛けてパンくずなどを撒いては…。風車を働く意味をもたせるようにしては、見る為にまわすのではなく。エローラの案内パンフレットに公園、池、風車の映像をのせては。池、木、林は良い絵になります。バスターミナルは雨の時には小さいのでは？トイレがないと聞きましたが館内で案内をしては？

追伸 松伏、エローラの名を広めるため、NHK、民放各社のテレビ、ラジオ番組をエローラで開催出来るように活動して下さい、それも1つの方法ではないでしょうか？

我、松伏町は埼玉県内で一番東京に近い所でありながら自ら文化の遅れた所の様に感じない訳にはいきません。

今、東京の新しい開発地、一等地はこの間まで僻地であった所です。

茨城県の人々は東京から不便な所でありながら、筑波学園都市を作り鉄道を引き東京に近い都市にしました。

松伏を機能のそなえた所にすれば自然に鉄道を整えなくてはならないのではないのでしょうか？

回答：教育文化振興課（音楽によるまちづくり）・企画財政課（その他）

【教育文化振興課（音楽によるまちづくり）】

音楽による町づくりについては、音響効果により日本の代表的なホールと評価されているクラシック音楽専用ホール「田園ホール・エローラ」を拠点に、鑑賞型事業をはじめ、参加型事業や交流型事業などを展開しています。

鑑賞型事業として、国内外の優れた音楽家のコンサートやふるさと寄席など様々なジャンルの公演を開催しています。参加型事業としては、田園ミュージックフェスティバルやまつぶし吹奏楽フェスティバルを開催し、田園ホール・エローラで気軽に音楽を親しんでいただけるよう取り組んでいます。交流型事業としては、町内の小学生を対象に、プロの音楽家と音楽教諭が内容を企画した授業を行い、本格的な音楽に触れる機会を提供しています。

今後も、町民の皆様が気軽に音楽に親しむことができ、日常生活の中に音楽があるまちをめざしていきます。

中央公民館（田園ホール・エローラ）のパンフレットは、施設使用料や利用方法などの情報と、公民館の外観、内観、音楽室など各施設の内観の写真を掲載し、最小限のページ数で作成しています。

パンフレットに公園、池、風車の映像を掲載することは、増ページ分の費用がかかることから、全ての映像を掲載することは難しいですが、町を紹介する「松伏ガイドマップ」や「まつぶしウオーキングマップ」に公園、池、風車などの写真が掲載されており、田園ホール・エローラ周辺の風景の素晴らしさを町内外の方々にお知らせしています。

松伏町、田園ホール・エローラのことを多くの方々に（全国の方々に）知っていただくためには、ご意見をいただきましたNHK、民放各社のテレビなどのマスメディアを活用することは最善の策と考えています。以前、ラジオの公開生放送やテレビの公開録画、映画撮影が行われたこともあります。

今後も、松伏町、田園ホール・エローラの情報を様々な広報媒体を活用して、積極的かつ効果的に広く町内外に発信できるよう取り組んでいきます。

【平成27年度の進捗】

平成27年度は田園ホール・エローラを拠点とした音楽による町づくりとして、鑑賞型事業9事業、参加型事業2事業、交流型事業1事業を実施しました。

また、マスメディアを活用とした事業については今後も活用できるように取り組んでいきます。

【企画財政課（その他）】

鉄道誘致（地下鉄8号線）については、現在、野田市を中心として、平成12年1月の運輸政策審議会での答申により、2015年までに整備着手することが望ましい路線として位置付けられましたが、経済状況の低迷等により、未だ進んでいないのが現状です。

現在国において、公共交通に関する議論がされていることから、今後とも、埼玉県、千葉県及び茨城県の関係10市町で構成される地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会など、関係団体と協力を密にして、地下鉄8号線の建設促進に向け、積極的に要望活動等を展開していきたいと思えます。

【平成27年度の進捗】

地下鉄8号線誘致については、6月に足立区等とともに国土交通大臣に要望活動を実施しました。また、11月には千葉県知事、2月に埼玉県知事、茨城県知事、国土交通大臣へ要望活動を実施しました。

現在に至るまで、関係機関と協力して積極的に要望活動等を続けてきたところですが、平成28年4月20日に国の諮問機関である交通政策審議会から答申が出され、永年の要望であります東京直結鉄道が盛り込まれるとともに、茨城県への延伸の可能性が示されました。

4-1 風災や大地震に備えての緊急避難体制づくりなど防災体制の充実

緊急避難場所とは別に比較的至近距離での緊急避難場所の確保を検討願います。

回答：総務課

現在町では、学校施設など19の公共施設等を避難所に指定しています。

避難所は、災害により自宅が倒壊・焼失など被災した住民の皆様のために当面の生活の場として状況により開設されるものです。また、被害が小さい場合でもライフラインが停止した場合には、水や食料を提供する拠点としての機能も持っています。

ご指摘の緊急避難場所を各地域に数多く設けた場合、このような機能を各緊急避難場所に設けることは、施設管理上の限界があり困難であることから、災害によりご自身に危機が迫った場合、緊急に危機を回避するため、お住まいの近くにある公園などの施設に一時的に避難して安全を確保・確認した後、必要な場合は改めて町が開設した避難所に避難していただきたいと思えます。

4-2 要望については予算の裏付確保

1年以内が無理なら、1年超で実行できる手段を考えて頂きたい。

回答：企画財政課

要望に対する予算化については、担当課で現場の状況を確認し、多数いただ

いている要望箇所の状況に応じて、優先順位をつけて予算化しています。
現場の状況や財政状況によって、1年で完成できるような予算付けができない場合は、ご指摘のとおり数年に分けて予算付けをする場合もあります。
限られた予算の範囲内であることから、緊急性または危険性の高いものを優先としていますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

4-3 安心安全な美しい町づくり推進

安心して運転できる公道を維持管理願いたい。

回答：まちづくり整備課

町が管理する町道は、幹線町道及び生活道路において交通量増大による破損、わだち、老朽化等が進行し、修繕の要望が多数寄せられ、その都度部分的な補修を行っています。

職員による道路パトロールも適宜実施していますが、細部までは道路の破損状況を把握できない状況です。

道路の破損箇所がありましたら、まちづくり整備課までご連絡いただきますようお願いいたします。危険を伴う場合は早急に対応します。

【平成27年度の進捗】

町では、道路のパトロールを行い、危険箇所等について適宜修繕を行っています。今後も適宜必要におじて道路の破損箇所の修繕を行ってまいります。

4-4 自治会の活性化が町の発展に貢献

回答：総務課

自治会活性化により、地域の人たちが「集い」「話し合い」「協力」しあうことによって、住みよい地域や絆を作っていくもので、一般的に、自治会活動が盛んな地域では、地域住民の「地域への関心が高く」、「地域活動へも積極的な参加や関与が見られ」、地域において「課題を解決する力」や「協力・助け合う力」が強いと思われま。

町の発展においては、町民一人ひとりの力の結集が、魅力あるまちづくりに繋がりますので、引き続き自治会活動の活性化に取り組んでいきたいと思いま。

5-1 下赤岩は、外灯がくらい。

回答：総務課

防犯灯は、自治会等からの要望により、「通学路指定の有無」、「交通量の状況」、「隣接防犯灯との距離」、「犯罪発生の有無」等を総合的に判断して、設置しております。

必要な箇所がありましたら、総務課庶務防災担当へご要望ください。

- 5-2 ①子ども達が遊ぶ公園がない。
②公園でつりをしている人達の路上駐車が多い。
③ドブにふたをしてほしいです。風で、ごみ、すなほこりが入ってドロドロです。夏はすごくにおいます。

回答：新市街地整備課 まちづくり整備課

①について

町の公園面積は一人当たり8.22㎡で、埼玉県内で17番目に広い数値ですが、ご意見を頂いた「子ども達が遊ぶ公園がない」ということを推察すると街区公園のような小規模な公園が身近にないというご意見と思われま

す。町では14箇所ある都市公園のほかに「こどもの遊び場」として民有地を借り上げ遊び場として利用しているところもあります。

新規で公園や「こどもの遊び場」を設置する場合は、公園として利用できる適地の提供、設置後の管理を自治会や利用者の方々をお願いすることなどを条件として整備することとしています。なお、既成市街地に「こどもの遊び場」として賃貸いただける適地がないのが現状です。

②について

ご指摘の路上駐車は、松伏総合公園の西側及び南側の道路と思われま

す。路上駐車対策として、駐車禁止の看板設置を行い、公園用駐車場の案内看板の掲出、口頭による移動依頼、ワイパー部に注意喚起及び駐車場の位置図チラシの挟み込みを行っていますが、依然として駐車車両はなくなりません。公園出入り口から車道の見通しが悪くなることで交通事故の原因となることから、今後も継続して駐車車両対策を実施します。

③について

排水路に蓋をすることによりゴミ、土砂等の阻止及び悪臭対策について効果があると思われま

す。一方、新聞報道、ニュース番組等で道路、橋等の老朽化が報道されていますが、町でも道路、橋、水路等の土木施設の老朽化が進行しており、補修を行うには高額な費用がかかることから、排水路の蓋掛までは難しい状況です。

排水路の土砂の著しい堆積等がありましたら、まちづくり整備課までご連絡ください。流水に支障がある場合は、水路の清掃を行います。

また、市街化区域内では公共下水道に接続することで衛生面が改善されますので、下水道へ接続されていない世帯に対し、接続するように働きかけます。

【平成27年度の進捗】

【新市街地整備課】

① について

平成27年度は「かがり火公園」の整備を行いました。

②について

継続して駐車車両対策を実施しています。

【まちづくり整備課】

② ついて

町では、排水路の清掃については、汚泥等の堆積が多く、流水に支障がある箇所について必要に応じて清掃を行っています。また、排水路の汚泥の主な原因は、浄化槽を通らない生活排水が原因となっていますので、公共下水道の区域内では未接続世帯に下水道に接続を依頼しています。

6 金杉小学校は、年々、人数が減っています。今後も減少の傾向にあると思われま
す。逆に、松伏小学校は増加傾向にあり、人数の差が激しいように思われます。

そろそろ、学区の見直し時期にきているのではないのでしょうか？このままでは、
金杉小学校は廃校になってしまいます。

よろしくお願いします。

回答：教育総務課

教育委員会では、金杉小学校の学区を変更するよりも、金杉小学校の魅力あ
る学校づくりを推進し、学校や地域の活性化を図るための調査研究をする必要
があると考えています。なお、松伏小学校の児童数については、平成24年度
より減少に転じており、今後の入学児童数の推移を慎重に見守る必要がありま
す。

【平成27年度の進捗】

金杉小学校の魅力ある学校づくりを推進するとともに、町内全域から金杉小
学校に児童を受け入れることができるよう「特認校制度」の研究を進めていま
す。

7 このような調査などにとりくんでいる行政に、まずは、お礼申し上げます。

私、新川自治会に住んでいるものですから、少し不満の方に目がいきます。又、
高齢になるにつれ、感じてきています。

①私、この調査に、今回で3回目になりますが・・・そのことから設問の問数と選択
する項目も毎年同じでいいのでしょうか。改定する所もあると思います。

②この設問以外では、まず一つ。それは自治会対策です。町内会に未加入の方を
どうしたらよいか。今の自治会（新川に限らず）とて存続はむずかしくなるので
はないか。この点の啓発を早急に取り組む等してほしい。

③二つめは、想定外であろうが、なかろうが自然災害が起きた際の、避難場所等々
の訓練とか、マップについて、行政のほうからの実施指導等、行ってほしい。実
施している自治会も2～3あるとは耳にしていますが。p l a n—d o—s e e、
行動して結果を反省してみましよう。

以上、ありがとうございます。お世話になります。どうか前述した事への対
応をよろしく。

回答：総務課

①について

町では、「暮らし満足度一番のまち」を実現するため、町民の皆様から様々なご意見をいただく町政等に関するアンケート調査を実施しています。

この調査は、同じ設問を継続的に聞き出すことにより、町政の良くなった所、悪くなった所を把握することができます。

なお、昨年度の調査時に設問を一新し、視点を変えたアンケートとなっていますので、5年程度は同じ設問となる予定です。

②について

自治会は、地域での課題について、地域の人たちによって「集い」「話し合い」「協力」して解決していただくための中心的な役割をもっています。

今後、急速な少子高齢化が進む中で、自治会の役割はますます重要となってきますので、引き続き、自治会加入の促進に取り組んでいきます。

③について

ひとたび災害が発生した場合、第一に「自分の身を自分の努力で守る」という自助の考え方、第二に「普段から顔を合わせている地域や人々が互いに協力しながら防災活動に組織的に取り組む」という共助の考え方が欠かせません。

また、災害に対しての日ごろの備えや、災害が起きたときの対応の仕方など、防災に関する知識を身に付けることも重要です。

町では、皆様の地域等にかがいで町の仕事などを説明する出前講座を実施しています。講座の中には、防災意識の向上や知識の普及を図るもの、吉川松伏消防組合職員が説明するものなどもあります。防災訓練等でもご依頼があれば町職員や消防職員が出向きますので、総務課にご相談ください。

- 8 全体的には評価できるが、勉強不足の職員が見られる。研修等を通じて町民が何を欲しているのか住民の要求に答えられる職員を育ててください。

回答：総務課

町では、複雑・高度化する行政ニーズに応えるため、平成24年5月から「第2次松伏町職員人材育成基本方針」を策定し、職員の能力開発を効果的に推進するため、長期的かつ総合的な観点で人材の育成に取り組んでいます。

その中で、職員への研修制度として、専門的な知識を得られるよう「職場研修」としてOJTを実施したり、「外部研修」としてより高度で専門的な知識、技術の習得を図るため、彩の国さいたま人づくり広域連合自治人材開発センター、市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）、国土交通大学校等が実施する研修を職員に受講させています。

もっとも多く職員を派遣している自治人材開発センターでは、各職位に求められる知識や能力を習得する階層別研修や、多様化する行政ニーズに柔軟に対応できる能力を開発することを目的とした選択研修のほか、内部講師を養成するための講師養成研修等が行われています。

また「派遣研修」として、他の団体の実務を通じて、事務または技術を習得し、あわせて職員の視野の拡大と資質の向上に資するために、職員を県、埼玉県東南部都市連絡調整会議を構成する市等に一定期間派遣しています。

平成26年度は埼玉県、埼玉県東南部都市連絡調整会議事務局、吉川市、埼玉県後期高齢者医療広域連合などに職員を派遣しました。

今後も引き続き様々な研修等を活用し、住民のニーズを的確に捉え、効果的な施策を実施できる職員を育てていきます。

9 町の今後進むべき方向性が見えてこない。

回答：企画財政課

新たなまちづくりの指針である第5次総合振興計画を策定し、平成26年度から進めています。大きな課題の一つが少子高齢化や人口減少です。子育て支援をさらに充実させることや、人口増加策として土地利用の検討が必要であると認識しています。

厳しい経済情勢が続いていますが、それぞれの課題の解決に向け努力していくとともに、全職員が目標に向けて一丸となって取組み、松伏に「暮らしてみたい」、「暮らしてよかった」、「暮らし続けたい」と思われるような「暮らし満足度一番のまち」の実現に向けたまちづくりを進めています。

【平成27年度の進捗】

人口減少社会への対応と町のまち・ひと・しごとの創生を図るため、「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、プレミアム商品券の販売やふれあい農産物直売所の整備、多子世帯保育料軽減事業やまつぶし冬フェスの開催などにより、人口減に歯止めをかけるための施策を実施しました。

10 交通の便が悪い。

回答：企画財政課

公共交通網については、茨城急行自動車(株)及び(株)ジャパントローズの各バス事業者のご協力をいただき、せんげん台駅、北越谷駅、南越谷駅、越谷レイクタウン駅、吉川駅及び野田市駅へと、松伏町から近隣の駅へのアクセスが向上しているところです。

また、鉄道誘致（地下鉄8号線）については、現在国において、公共交通に関する議論がされていることから、今後も、関係団体と協力を密にして、地下鉄8号線の建設促進に向け、積極的に要望活動等を展開していきます。

【平成27年度の進捗】

ノンステップバスを1台導入した民間事業者へ補助金を交付し、バス利用の促進と利便性向上を図りました。

また、地下鉄8号線誘致については、6月に足立区等とともに国土交通大臣に要望活動を実施しました。さらに、11月には千葉県知事、2月に埼玉県知

事、茨城県知事、国土交通大臣へ要望活動を実施するとともに、次期答申に早期建設が確実に位置づけられるよう11月から12月にかけて署名活動を実施しました。

現在に至るまで、関係機関と協力して積極的に要望活動等を続けてきたところですが、平成28年4月20日に国の諮問機関である交通政策審議会から答申が出され、永年の要望であります東京直結鉄道が盛り込まれるとともに、茨城県への延伸の可能性が示されました。

1 1 企業誘致の推進等で税金面での減少を進めて下さい。

回答：企画財政課

税条例で規定する町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税の税率については、法律で定められている標準的な税率を引用して課税しています。現在の町の財政状況は、昨今の経済情勢により依然として厳しい状況にあり、平成27年度当初予算では、昨年度と比較し、約1億円程度の税収の減少が見込まれています。こうした状況を踏まえると税負担の軽減は、大変難しいものと考えています。また、町の行政サービスを維持するためにも安定した財源の確保が必要となることから、今後も企業誘致を進めていきたいと思っております。

【平成27年度の進捗】

現在、大川戸地区の企業誘致を進めるとともに、新市街地地区の企業誘致の検討を行っているところです。一日も早く実現できるよう、関係団体や地元住民と協力していきたいと考えます。

1 2 高齢者が多くなり、町内会での草取りが困難になってきました。特に、用水路わきの雑草が多く困っています。何かよい事案はないでしょうか？

町として何か対策を取っていただけると助かります。

回答：まちづくり整備課

用水路の草刈は限られた予算の中で実施することは難しい状況ですが、毎年職員による草刈を定期的に行っていますので、まちづくり整備課までご連絡ください。

なお、交差点付近の用水路で交通安全上速やかな対応が必要な場合は、適宜対応します。

【平成27年度の進捗】

町では、平成27年度の5月から10月にかけて職員による草刈を実施しました。平成28年度も適宜職員の草刈を実施していく予定です。

1 3 東日本大震災をはじめとする大震災、広島市豪雨災害での教訓から、住民同士の絆の重要性が再認識させられた昨今、防災に対する意識が向上し地域住民の結束が強まる現象が起きているように思われます。そこで、これからの危機管理上の問題のみならず、少子高齢社会を迎え、子育て中の母親や高齢者の孤立化など

住民の不安を解消するためにも、地域と行政が対等に協議して連携する体制作りや、他の団体も含む広い連携を広げる活動も重要と考えておりますし、今までの町の防災訓練が毎年同じ様な訓練内容、同じ参加者で何も考えず集合しイベント訓練になり住民自ら考え、意識啓発する訓練が必要と思います。以上のことから要望として、条件に即した訓練を実施したらどうか。例えば訓練の対象者が、行政職員か、住民か、あるいは地域防災組織の組織長や防災リーダーかで実施する訓練内容も異なります。又、災害の種類によっても訓練が違います。よって訓練は、行政主導で行われることが多いですが、実際の災害時には、住民自ら命を守る必要があるため、住民が積極的に防災訓練、避難訓練を実施する必要があると思います。そして訓練終了後に目的が達成できたのか否か、防災上の課題や問題点はなかったのか等を明らかにするとともに継続的に訓練するための解決策を提案し行動マニュアルとして取りまとめることが重要であると考えます。そうすることによって来年、再来年とつなげることができます。

追記、ゆめみ野東地区と田園エローラをつなぐ道路は、イベント等の際に車が混雑し事故を起こす可能性があるため信号機の設置、あるいは、横断歩道を設置できないかを検討願います。

回答：総務課

ひとたび災害が発生した場合、第一に「自分の身を自分の努力で守る」という自助の考え方、第二に「普段から顔を合わせている地域や人々が互いに協力しながら防災活動に組織的に取り組む」という共助の考え方が欠かせません。

このようなことから、町が実施する総合防災訓練のみならず、共助の考え方のもと自治会又は連合自治会を基礎とした自主的な防災組織が地震などの災害に対し、自分のまちを守る活動が出来るよう、平時から訓練を行うことが重要です。

現在、町には、主に連合自治会を設立母体とする18の自主防災組織があり、地域の実情に応じた防災訓練等の事業を実施しています。町では、共助の重要な担い手となる自主防災組織の設立及び積極的な活動を期待しており、金銭的な援助や助言等を行うことで組織の育成・支援をします。また、平成27年度は町と各自主防災組織との情報交換の場を設置し、相互の連携を強化していきたいと考えています。

信号機や横断歩道は、埼玉県公安委員会が設置します。

交通安全対策として、信号機や横断歩道が必要な具体的な箇所がありましたら、総務課へご要望ください。町が吉川警察署へ設置の要望を行います。

1.4 国民健康保険税の課税対象項目について

「第5次松伏町行政改革大綱・実施計画（素案）」の中で、国民健康保険税の課税対象項目「資産割」を廃止するとしていたが、何時から廃止にするのか早く明示して欲しい。

隣の越谷市では、課税対象として「総所得金額等」と「均等割」しかない。（越

谷市HPより)

同じ日本国民として、住む場所により課税対象が違いうことは大変おかしい。この事は、日本国憲法14条第1項に抵触する。

もし、越谷市方式になると世帯によっては現在の課税より高くなる可能性があるとしても、早く是正することが必要である。

本来は、均等割のみが最も平等であるので、早期に移行するべきである。

回答：住民ほけん課

国民健康保険税については、現在適用している税率や、所得割、資産割、平等割、均等割としている4方式による賦課方式を、平成20年度の税率改正以降、国保財政が逼迫する中で税率や賦課方式の改定を実施せず、事業の運営を行ってきたところです。

当町における4方式の賦課方式については、地方税法703条の4において賦課方法を4、3、2方式から市町村が選択できることとなっていることから、この法律を基に4方式を選択しているところですが、埼玉県が策定している「埼玉縣市町村国保広域化等支援方針」では、県内国保事業の広域化を見据えた中で、保険税の平準化を進めるために2方式を方針の中に掲げています。

この様な中、町においても国保財政の逼迫による課税方式の変更や税率の見直しの検討をしているところですが、改正を行うことにより、被保険者によってはこれまでの税額との差が生じることから、改正については慎重に実施時期を計っているところです。

ご意見をいただきました2方式への移行について、広域化における国民健康保険税の平準化の面からは、都道府県が保険者となる平成30年までには2方式に移行を行うことが望ましいと考えております。また、町国民健康保険財政の健全化の面からは、30年度を待たずに早期の税率の改定が必要であると認識しています。

【平成27年度の進捗】

平成27年12月議会において、松伏町国民健康保険税条例の改正を行い、それまでの課税方式である4方式から、所得割、均等割の2方式に改正をしました。このことにより、平成28年度からは近隣自治体と同じ2方式で国民健康保険税を課税することになります。

15 松伏町が目指している特色ある町づくりについて示して下さい。

回答：企画財政課

「9」の回答と同様になりますが、新たなまちづくりの指針である第5次総合振興計画を策定し、平成26年度から進めています。大きな課題の一つが少子高齢化や人口減少です。子育て支援をさらに充実させることや、人口増加策として土地利用の検討が必要であると認識しています。

厳しい経済情勢が続いていますが、松伏に「暮らしてみたい」、「暮らしてよかった」、「暮らし続けたい」と思われるような「暮らし満足度一番のまち」の

実現に向けたまちづくりを進めていきます。

【平成27年度の進捗】

人口減少社会への対応と町のまち・ひと・しごとの創生を図るため、「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、プレミアム商品券の販売やふれあい農産物直売所の整備、多子世帯保育料軽減事業やまつぶし冬フェスの開催などにより、人口減に歯止めをかけるための施策を実施しました。

16 県内他市町村と比べて、インフラの整備の遅れは、歴然としており、時間と費用を要しますが、取組んで頂きたい。

回答：新市街地整備課

町におけるインフラは町民の福祉の向上と経済の発展のための公共施設を指し、一般的には道路、河川、鉄道、バス、電気、電話、水道、下水道、公園などの社会基盤の総称として用いられているものです。このほか学校や病院ごみ処理施設等の公共施設も含まれます。

これらのインフラの中で県内他市町と比較した場合、鉄道を除けば決定的に整備が遅れている項目はないものと認識しています。

道路については長らく着手できなかった都市計画道路である東埼玉道路事業が着手され、同様に埼玉県で実施される浦和野田線も平成25年度から河原町地区において工事が始まっています。また、町事業である都市計画道路の河原町深町線も平成25年度に一部区間が開通し、平成27年度には松伏高校から浦和野田線までの区間を工事すべく設計に着手します。

このように、都市インフラの整備については、ご指摘のように時間と費用を要しますが着実に取り組んでいきます。

また、鉄道誘致（地下鉄8号線）ですが、今後も関係市町と連携を強化し早期実現に向けた要望活動を積極的に実施していきます。

なお、参考ではありますが各インフラの整備の指標となる項目と県内順位について把握できる範囲でお知らせします。

- ・道路：舗装率 64.7%
(県内36番目/63市町村、県内町部5番目/22町)
歩道設置率 6.3%
(県内38番目/63市町村、県内町部7番目/22町)
- ・公園：町民一人当たりの面積 8.22㎡/人
(県内17番目/61市町村(都市計画区域外の2町村を除く))
- ・下水道：下水道普及率 67.8%
(県内31番目/60市町村(3町村は下水道事業未実施))
水洗化率 82.6%

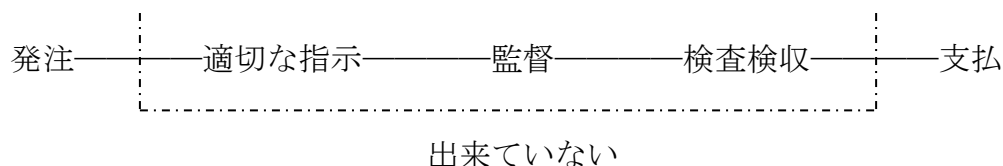
【平成27年度の進捗】

平成27年度は「かがり火公園」の整備、都市計画道路河原町深町線（深町

工区) の設計を行いました。地下鉄 8 号線については要望活動と併せて署名運動を実施しました。

1 7 仕事の流れ

部署、係の仕事の流れを以前から、先輩から、昔からではなく、改革、改良し正確で効率の良いものとする。



回答：企画財政課

町では、効率的で柔軟な行政運営を行うために、組織体制を係制ではなく担当制（グループ制とも言います。）を採用しています。各課には、課長を責任者として置き、複数の担当を配置して課の運営を行っています。それぞれの担当内には責任者として主席主幹や主幹を置き、担当内には副主幹、主査、主任、主任主事、主事等の職を配置しています。

組織体制については、毎年見直しを行っており、効率的かつ効果的に行政運営を実施できるよう、検討していきます。

1 8 今大問題各自治会の脱会者の増。自治会は町の下組織、これがくずれている原因は、自治会は寄付取場。自治会はくらしのみなもと。自治会館の整備がいそがれる。ベッタウンから希望のおらが町。行政は先を見、安い金利時、前進の投資を願う。金が無い、ではすまされない。

がんばれ松伏、住民皆目ざめよう。

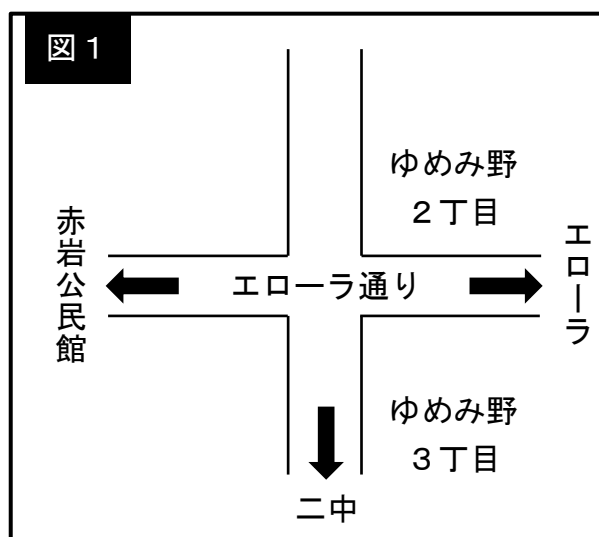
回答：総務課

自治会は、地域での課題について、地域の人たちによって「集い」「話し合い」「協力」して解決していくための中心的な役割をもっています。

今後、急速な少子高齢化が進む中で、自治会の役割はますます重要となっていきますので、引き続き、自治会加入の促進に取り組んでいきます。

1 9 ゆめみ野 2 丁目と 3 丁目の間の信号のある交差点 (図 1) での事故が多いのが大変不安です。何度も起きているのに対策を立ててもらえないのはなぜでしょうか。子ども達が事故に巻き込まれないか心配です。

何年か前になりますが、夜、子ども達



とゆめみ野2丁目から3丁目に向かって歩いていた時に、赤信号なのにエローラ方面へけっこうなスピードで直進する車を見ました。

ある人の話では、一つ先の信号と見間違えるようだとのことでした。

何とか対策をたてて頂けないでしょうか！？

回答：総務課

ご指摘の箇所については、以前は、隣接信号機との見間違いによる交通事故も発生していました。

吉川警察署から、「信号機の見間違いを防止するため、道路へドットラインの路面標示が有効である」とのアドバイスを受け、平成23年3月にドットラインの路面標示による交通安全対策を実施しました。

交通安全対策後は、人身交通事故が減少し、平成27年3月までの約4年間で2件となっており、信号機の見間違いによる交通事故防止効果があったものと思います。

引き続き、交通事故防止に関するご要望がありましたら、総務課へご要望ください。

【平成27年度の進捗】

平成28年3月9日に信号機の見間違いを防止するため、エローラ通りを赤岩地区公民館からエローラ方面へ進行する際の当該交差点における信号機を「1基」から「2基」へ増設（両灯化）しました。